

◆ 平成28年度決算について ◆

経理部経理課

平成28年度決算について、監査法人の厳格な監査を受けたのち、5月25日に開催された学園理事会及び評議員会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

平成28年度は診療報酬改定が行われ、全体で△0.84%と厳しい改定となりました。大型施設事業は、医科大学においては教職員・学生環境の整備を目的として、ドミトリーさくら地下1階の改修工事を行いました。

また、大学病院においては、震災等の災害時も病院機能を維持するための耐震補強工事（5期目）や診療業務の強化を図るため、本館改修工事を行いました。越谷病院においては、昨年度に引き続き新棟建設工事や特殊外来機能の拡張のため、瓦曽根外来棟（みらい棟）新築工事を行いました。日光医療センターにおいては、透析患者の増加に対応する体制を整えるため、透析棟の建設工事を行いました。

特筆すべき事項として、12月末に大学病院において発生したノロウイルス集団感染の影響により医療収入の大幅な減収を余儀なくされたため、平成28年度決算は、基本金組入前当年度収支差額（事業活動収入－事業活動支出）は1億31百万円で、予算の7億45百万円に対して6億14百万円のマイナスとなり、わずかに黒字を確保できましたが過去5年間に於いて最も厳しい結果となりました。（前年度は17億4百万円）

以下、事業概要及び事業活動収支・資金収支計算書を掲載し、特に目立った動きを中心に簡潔に説明します。

■ 事業概要

* 差異＝予算－実績（マイナス表示は予算超過を表しています）

（単位 百万円）

28年度事業内容	結果・備考等	28年度予算	実績	差異
《医科大学》				
1. 教学関係				
①医学部				
1) 全国共用試験	1) CBT: コンピューターによる医学知識試験の実施 OSCE: 「医療面接」「頭頸部」「胸部」等7つのステーションでの模擬患者を相手とする実技試験の実施	4.6 1.8	4.5 1.2	0.1 0.6
2) 早期医学・地域医療体験	2) 期間集中型科目「コミュニティーヘルスインターンシップ」「アドバンスドコミュニティーヘルスインターンシップ」、選択科目「地域包括医療実習」の開設による本学附属病院や学外の福祉施設等での体験学習の実施	3.0	2.2	0.8
3) 学生の海外研修	3) 学内試験選抜の学生の海外大学病院等における約2週間の見学実習の実施	15.0	11.8	3.2
4) 医師国家試験対策合宿	4) 5・6年生を対象に、卒業試験・医師国家試験の合格に向けて、短期集中合宿を実施	8.9	8.6	0.3
5) 国際交流等の拡充・充実	5) 国際交流の拡充や支援、海外大学との提携等の検討、海外視察の実施	3.0	0.0	3.0
6) がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	6) 本学国公立8大学の共同申請による「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」に参加	8.0	7.5	0.5
7) 国際交流推進	7) 海外の大学・教育研究機関等との交流及び国際協力事業の推進	8.0	4.9	3.1
8) 教務事務システム更新	8) 学生データ一元管理及び業務効率化のための新システムの導入	58.2	37.6	20.6
9) 出席管理システムの導入	9) 講義毎の出席確認を出席票による記入方式からICカード認証方式に変更	6.5	0	6.5
②看護学部				
1) 実習関係	1) ふれあい実習、基礎看護学実習Ⅰ～Ⅱ、健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅰ～Ⅶ、健康看護支援論実習（公衆衛生）、総合実習の実施	9.1	8.5	0.6

2) 国家試験対策	2) 国家試験対策コーナー等の環境整備、模擬試験・特別講義等の実施	4. 5	3. 4	1. 1
3) 学生の海外研修	3) 海外の医療、看護業務の学習及び国際感覚を習得するため海外にて1週間程度の実習の実施	2. 3	2. 6	－0. 3
4) 成績管理システム更新	4) 大学院及び助産学専攻科における成績管理システムの導入と、看護学部におけるシステム保守契約締結	4. 5	4. 4	0. 1
5) 地域共創看護教育センター	5) 地域ボランティア活動、地域健康支援講座、教員個々の地域支援活動、看護職者のリカレント教育と研究支援の実施	1. 7	0. 8	0. 9
2. 施設・設備関係				
1) ドミトリ－さくらB1F改修工事	1) ドミトリ－さくらB1Fのトイレ増設、間仕切り、空調、照明設置等	75. 0	102. 1	－27. 1
2) 氷蓄熱廻り制御更新(電動制御弁)	2) 電動制御弁の修繕工事	42. 8	20. 8	22. 0
3) 臨床医学棟No.5EV 更新工事	3) EVの更新	39. 9	36. 7	3. 2
4) ピークカット用発電機改修工 事	4) 制御盤等のシステム改修	38. 0	0	38. 0
5) 大学電気設備改修工事(1/2期)	5) 発電機の設置工事	28. 5	0	28. 5
6) 空調機更新・増設工事	6) 30周年記念館セミナー室系統空調機更新、実習棟340実習室空調機設置工事	47. 5	32. 7	14. 8
7) 教育研究・実習用機器備品	7) 教育研究・実習用機器備品の整備充実	394. 0	222. 3	171. 7
8) 図書	8) 教育研究用図書の整備充実	40. 7	37. 0	3. 7
3. 管理運営関係				
1) 看護師確保対策	1) 合同病院説明会への参加、就職説明会や病院見学会の実施	11. 1	8. 3	2. 8
2) 電子ペーパーシステム導入	2) 教授会等配布資料のペーパーレスによる紙資源等の削減を目的としたシステムの導入	6. 6	0. 0	6. 6
3) 倫理審査申請システム導入	3) 生命倫理委員会の申請者・管理部門・審査委員会の間でのネットワーク構築、各種文書の電子化、申請記録のデータベース化	6. 2	5. 4	0. 8
4) ネームカード更新、出退勤システム構築	4) ネームカード(ICカード)のリニューアル、カードリーダー設置	5. 8	2. 0	3. 8
5) 原価計算算出システム導入	5) 原価計算算出業務の効率化及び報告の迅速化を目的としたシステムの導入	5. 0	0. 0	5. 0
《大学病院》				
1. 医療活動関係				
1) 統合医療情報システム	1) 電子カルテシステム、PACSシステムの維持管理	576. 1	558. 1	18. 0
2) 栃木県ドクターヘリ事業	2) ドクターヘリ運航業務の委託他	212. 6	246. 1	－33. 5
3) 診療科整備事業	3) 診療科の整備に伴う機器備品および什器の購入	89. 2	89. 2	0. 0
4) 医療安全推進事業	4) 講演会などの啓蒙活動、医療事故報告の管理・分析、リスクマネジメント業務の推進他	6. 4	10. 3	－3. 9
2. 施設・設備関係				
1) 中央材料部移転工事	1) 材料部移転工事(移転工事・設計・監理費)	695. 0	38. 0	657. 0
2) 本館病棟空調設備リニューアル工事(2/4期)及び設備更新工事	2) 空調設備更新工事(リニューアル工事・設備更新工事・設計・監理費)	534. 0	310. 8	223. 2
3) 本館耐震工事(5/7期)	3) 耐震補強工事(耐震工事・設計・監理費)	481. 5	417. 8	63. 7
4) 本館外来設備工事	4) 本館改修工事(設備工事・設計・監理費)	422. 0	436. 6	－14. 6
5) 中央監視装置更新工事(2/3期)	5) 中央監視装置の更新工事	260. 0	260. 0	0. 0
6) 医療設備機器整備	6) 大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備	600. 0	600. 0	0. 0
7) 医療画像管理システム更新	7) PACSシステムの更新	496. 8	421. 5	75. 3
8) 材料部移転に伴う設備機器更	8) 材料部移転に伴う機器備品および什器の購入	380. 0	0. 0	380. 0
9) 臨床研修機器整備	9) 臨床研修用機器、OA機器の購入	50. 0	50. 0	0. 0

《越谷病院》				
1. 医療活動関係				
1) オーダリングシステムの充実	1) オーダリングシステムの構築、各種システム更新	666.0	620.2	45.8
2) 臨床検査部再構築機器更新	2) 臨床検査部再構築機器リース			
3) 病院内美装化並びに什器類更新	3) 外来及び病棟デイルームの什器入替、外来棟患者待合椅子の入替・座面交換	63.5 27.0	63.5 0.0	0.0 27.0
2. 施設・設備関係				
1) 新棟建設工事	1) 新棟建設工事(事前改修工事・新築工事)	4,592.0	4,392.0	200.0
2) 放射線治療棟(ライナック棟)増築工事	2) 放射線治療棟増築工事(工事設計料・インフラ盛替工事及び増築工事)	257.5	257.5	0.0
3) 瓦曽根外来棟(みらい棟)新築工事	3) 外来棟新築工事(新築工事・工事設計料)	428.0	453.3	-25.3
4) 研究棟設備更新	4) 更新工事(空調機更新・ビルマルチエアコン更新)	88.2	9.0	79.2
5) 電話交換機(PBX)更新工事	5) 電話交換機更新工事	70.0	70.0	0.0
6) 医療設備機器整備	6) 大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備	400.0	393.5	6.5
7) オーダリングシステム更新	7) オーダリングシステムのリース機器導入及び更新	220.6	175.4	45.2
8) 放射線機器整備	8) ライナック棟増築に伴う機器の購入	480.0	459.9	20.1
9) ベッド及びベッド回り備品更新	9) ベッド及びベッド回り備品更新費用	580.0	0.0	580.0
《日光医療センター》				
1. 医療活動関係				
1) 業務外注化	1) 施設管理、検体検査、医事業務、給食、情報処理等の外部委託	264.7	255.4	9.3
2) 医療情報システムの充実	2) 電子カルテシステム及び部門システムの充実	152.3	150.7	1.6
3) 診療報酬改定に伴うシステム変更	3) 医事システム及び電子カルテシステム他の変更作業	7.0	3.7	3.3
2. 施設・設備関係				
1) 透析棟建設	1) 透析棟建設(建設工事・医療ガス設備設置工事)	205.4	184.7	20.7
2) 熱源設備更新工事(2/2期)	2) 機械室熱源設備の経年劣化による更新工事	86.4	86.0	0.4
3) MRI撮影室増設	3) 磁気共鳴断層撮影装置(MRI装置)導入に伴う電磁波シールド工事	54.0	39.3	14.7
4) 手術室空調更新工事	4) 手術室3室パッケージエアコン更新工事	17.1	17.1	0.0
5) MRI撮影室機器整備	5) MRI装置及び周辺機器の購入	162.0	140.2	21.8
6) 医療設備機器整備	6) 診療機器、検査機器の新規・代替購入	150.0	84.2	65.8
7) 透析棟設備機器整備	7) 透析棟新設に伴う機器備品及び什器の購入	90.0	88.1	1.9
8) 栄養課厨房設備整備	8) 厨房機器の購入	5.0	3.0	2.0
《看護専門学校壬生校》				
1. 教学関係				
1) 実習関係	1) 各領域において3週間1クールとして病院や施設での実習を実施	4.2	3.0	1.2
2) 専任教員の研修・研究	2) 看護教育内容、方法の改善や教員の質の向上を図るため、学外の研修会や研究会への参加	1.4	0.5	0.9
3) 全国模擬試験	3) 看護師国家試験の模擬試験の実施	1.2	1.1	0.1
2. 施設・設備関係				
1) ドミトリーさくら地下 1F改修工事	1) ドミトリーさくら地下 1Fに会議室カンファレンスルームを設置	74.1	5.6	68.5
2) 教室の AV システム設置	2) 4番・5番教室のプロジェクター及びスクリーンの更新	3.6	2.1	1.5
3) 学生情報・成績管理システム導入	3) 試験成績や学籍簿管理のため新システムを導入	25.0	17.4	7.6

3. 管理運営関係 1) 看護学生募集パンフレット制作 《看護専門学校三郷校》 1. 教学関係 1) 宿泊学習の実施 2) 入学前教育の実施 3) 外部講師による特別講演の実施 2. 施設・設備関係 1) 図書の購入 2) バスケットゴール設置 管理運営関係 1) 学校パンフレット制作 2) 看護学生募集要項の制作	1) パンフレット・ポスターの作成	2. 3	2. 3	0. 0
	1) 人間関係形成とクラスづくりを目的とした宿泊学習	0. 7	0. 7	0. 0
	2) 入学前にeラーニングを活用し、看護を学ぶにあたり、最低限必要な学力・意欲・基礎的スキルを養成する	0. 6	0. 7	－0. 1
	3) 外部講師による接遇教育の実施	0. 5	0. 6	－0. 1
	1) 図書室の整備充実	3. 0	3. 0	0. 0
	2) 体育授業で使用するために購入	0. 5	0. 4	0. 1
	1) パンフレット・ポスターの作成	0. 6	0. 8	－0. 2
	2) 入学試験募集要項の作成	0. 9	1. 1	－0. 2

■ 事業活動収支計算書の概要

平成28年度決算につきまして、事業活動収支計算書より説明いたします。（資料1）

「事業活動収支計算書」は企業会計という損益計算書に相当するものです。経常的な収支（1. 教育活動収支と2. 教育活動外収支）と臨時的な収支（3. 特別収支）に区分される「区分経理」が導入されたことにより、経常的な収支バランスと臨時的な収支バランスが区分して把握できるようになっています。したがって、教育活動収支差額と教育外収支差額を合計したものが、**経常収支差額**となります。

1. 教育活動収支

【 教育活動収入の部 】

● 学生生徒等納付金（構成比6.4%）

医学部、大学院医学研究科、看護学部、大学院看護学研究科、助産学専攻科、看護専門学校壬生校、看護専門学校三郷校の学生生徒納付金収入が、予算比71百万円（1.3%）増の54億10百万円となりました。

● 寄付金（構成比1.5%）

予算比比3億19百万円（35.4%）増の12億20百万円となりました。

● 経常費等補助金（構成比3.2%）

予算比4億93百万円（15.6%）減の26億75万円となりました。

● 医療収入（構成比86.8%）

3病院（大学病院・越谷病院・日光医療センター）の医療収入の総額は、予算比9億23百万円（1.3%）減の729億3百万円となりました。

- ・大学病院 : 421億97百万円
- ・越谷病院 : 259億70百万円
- ・日光医療センター : 47億36百万円

【 教育活動支出の部 】

● 人件費（構成比39.7%）

予算比1億10百万円（0.3%）減の333億2百万円となりました。

教員人件費は、87億21百万円、職員人件費は、227億38百万円、退職給与引当金繰入額は18億37百万円となりました。

● 教育研究経費（構成比55.7%）

予算比3億41百万円（0.7%）減の466億45百万円となりました。

このうち医療経費（構成比36.7%）は、3病院総額で予算比5億79百万円（1.9%）増の307億45百万円となりました。

- ・大学病院 : 192億87百万円（医療経費率47.3%）
- ・越谷病院 : 102億34百万円（医療経費率40.0%）
- ・日光医療センター : 12億24百万円（医療経費率26.4%）

また、一般経費は、予算比8億87百万円（8.4%）減の96億39百万円となりました。

減価償却費は、予算比3億3百万円（0.5%）減の62億61百万円となりました。

● 管理経費（構成比4.0%）

予算比4億23百万円（14.4%）増の33億62百万円となりました。

このうち一般経費は、予算比4億36百万円（18.0%）増の28億56百万円となりました。

減価償却費は、予算比13百万円（2.5%）減の5億6百万円となりました。

- 徴収不能額等（構成比 0.1%）

徴収不能額引当金繰入額は、予算比 3 百万円（3.5%）減の 82 百万円となりました。

2. 教育活動外収支

【 教育活動外収入の部 】

- 受取利息・配当金（構成比 0.1%）

予算比 1 百万円（1.7%）減の 59 百万円となりました。

【 教育活動外支出の部 】

- 借入金等利息（構成比 0.04%）

予算比 3 百万円（8.3%）減の 33 百万円となりました。

3. 特別収支

【 特別収入の部 】

- その他の特別収入（構成比 0.5%）

予算比 1 億 41 百万円（50.5%）増の 4 億 20 百万円となりました。

現物寄付が予算比 41 百万円増、施設設備補助金（国庫）が 5 百万円増、施設設備補助金（地公体）が 37 百万円減となっています。

【 特別支出の部 】

- 資産処分差額（構成比 0.14%）

予算比 1 億 17 百万円（50.2%）減の 1 億 16 百万円となりました。

- 法人負担金（構成比 0.4%）

予算比 11 百万円（3.9%）増の 2 億 94 百万円となりました。

以上、3つの活動区分の合計の事業活動収入は、予算比 7 億 88 百万円（0.9%）減の 839 億 71 百万円となりました。

一方、事業活動支出は、予算比 17 億 4 百万円（0.2%）減の 838 億 40 百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は、予算比 6 億 14 百万円（82.4%）減の 1 億 31 百万円の収入超過（黒字）となりました。なお、事業活動収支差額比率は 0.16%となりました。

また、内部留保額（基本金組入前当年度収支差額＋減価償却額＋資産処分差額）は、予算比 7 億 77 百万円（10.0%）減の 70 億 14 百万円となりました。

■ 資金収支計算書の概要

次に、資金収支計算書について説明します。（資料２）

資金収支計算書は、当該会計年度のすべての収入・支出の内容並びに支払資金の収入・支出の顛末を明らかにした計算書になります。

事業活動収支計算書に計上されていない「借入金収入」「前受金収入」「借入金等返済支出」「施設関係支出」「設備関係支出」「資産運用支出」等が資金の収入・支出を伴うため計上されています。

以下、事業活動収支計算書と重複するものを除いて主な項目について説明します。

【 収入の部 】

● 借入金等収入

越谷病院新棟建設資金として、新たに４０億円を借入れしました。

【 支出の部 】

● 借入金返済支出

市中金融機関からの長期借入金の約定償還は１４億円となりました。

● 施設関係支出

予算比１３億５８百万円（１４．８％）減の７８億１０百万円となりました。

主なものは、大学のDormitory さくら地下１Ｆ改修工事（設計費含）１億５百万円、大学病院の本館耐震工事４億円、空調設備リニューアル工事３億１１百万円、中央監視装置更新工事２億６０百万円、本館外来設備工事改修工事４億３７百万円、越谷病院の新棟建設工事（当年度支払分）４３億９２百万円、放射線治療棟（ライナック棟）建設工事２億５７百万円、瓦曽根外来棟（みらい棟）建設工事４億５３百万円、日光医療センターの透析棟新築工事１億８４百万円がありました。

● 設備関係支出

予算比１５億７０百万円（２９．８％）減の３６億９５百万円となりました。

- ・教育研究機器備品が予算比１４億８５百万円減の３３億６３百万円
- ・管理用機器備品が予算比３７百万円減の２億７４百万円となっています。

● 資産運用支出

昨年度と同額の６０億円となりました。

内訳は第３号基本金引当特定資産が１０億円、退職給与引当特定資産が３０億円、減価償却引当特定資産が２０億円となっています。

その結果、翌年度繰越支払資金は予算比８億３７百万円（８．９％）減の８５億５１百万円となりました。

なお、獨協学園の決算、事業報告書については、獨協学園のホームページ<http://www.dac.ac.jp/>をご覧ください。

平成28年度事業活動収支計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：百万円)

年 度		平成28年度 予 算 額	平成28年度 決 算 額	差 異	備考	
科 目						
教育活動収支	収入	学 生 生 徒 等 納 付 金	5,339	5,410	△ 71	
		手 数 料	215	191	24	
		寄 付 金	901	1,220	△ 319	
		経 常 費 等 補 助 金	3,168	2,675	493	
		(国 庫 補 助 金 収 入)	(2,643)	(2,070)	(573)	
		(地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入)	(525)	(604)	(△ 79)	
		(そ の 他 補 助 金 収 入)	(0)	(1)	(△ 1)	
		付 随 事 業 収 入	370	456	△ 86	
		医 療 収 入	73,826	72,903	923	
		雑 収 入	592	628	△ 36	
	教 育 活 動 収 入 計 A	84,411	83,483	928		
	支出	人 件 費	33,412	33,302	110	
		教 育 研 究 経 費	46,986	46,645	341	
		(医 療 経 費)	(30,166)	(30,745)	(△ 579)	
		(一 般 経 費)	(10,526)	(9,639)	(887)	
		(減 価 償 却 費)	(6,294)	(6,261)	(33)	
		管 理 経 費	2,939	3,362	△ 423	
		(一 般 経 費)	(2,420)	(2,856)	(△ 436)	
		(減 価 償 却 費)	(519)	(506)	(13)	
		徴 収 不 能 額 等	85	82	3	
		教 育 活 動 支 出 計 B	83,422	83,391	31	
	教 育 活 動 収 支 差 額 C(A-B)		989	92	897	
教育活動外収支	収入	受 取 利 息 ・ 配 当 金	60	59	1	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	
		教 育 活 動 外 収 入 計 D	60	59	1	
	支出	借 入 金 等 利 息	36	33	3	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	
		教 育 活 動 外 支 出 計 E	36	33	3	
教 育 活 動 外 収 支 差 額 F(D-E)		24	26	△ 2		
経 常 収 支 差 額 G(C+F)		1,013	118	895		
特別収支	収入	資 産 売 却 差 額	0	0	0	
		そ の 他 の 特 別 収 入	279	420	△ 141	
		(うち 現 物 寄 付 金)	(41)	(82)	(△ 41)	
		(うち施設設備補助金・国庫)	(2)	(7)	(△ 5)	
		(うち施設設備補助金・地公体)	(226)	(189)	(37)	
		(うち過年度修正額)	10	142	△ 132	
	支出	法 人 負 担 金 収 入	9	9	0	
		特 別 収 入 計 H	288	429	△ 141	
		資 産 処 分 差 額	233	116	117	
		そ の 他 の 特 別 支 出	0	6	△ 6	
		法 人 負 担 金 支 出	283	294	△ 11	
		特 別 支 出 計 I	516	416	100	
特 別 収 支 差 額 J(H-I)		△ 228	13	△ 241		
(予 備 費) K		40	0	40		
基本金組入前当年度収支差額 L(C+F+J-K)		745	131	614		
基本金組入額合計 M		△ 6,448	△ 6,146	△ 302		
当年度収支差額 N(L+M)		△ 5,703	△ 6,015	312		
前年度繰越収支差額 O		△ 88,290	△ 85,258	△ 3,032		
基本金取崩額 P		0	0	0		
翌年度繰越収支差額 Q(N+O+P)		△ 93,993	△ 91,273	△ 2,720		
参 考	事業活動収入計(A+D+H)		84,759	83,971	788	
	事業活動支出計(B+E+I+K)		84,014	83,840	174	

平成 2 8 年度資金収支計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：百万円)

年 度		平成28年度 予 算 額	平成28年度 決 算 額	差 異	備 考
科 目					
収入 の 部	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	5,339	5,410	△ 71	
	手 数 料 収 入	215	191	24	
	寄 付 金 収 入	901	1,215	△ 314	
	補 助 金 収 入	3,396	2,871	525	
	(国 庫 補 助 金 収 入)	(2,645)	(2,076)	569	
	(地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入)	(751)	(794)	△ 43	
	(そ の 他 補 助 金 収 入)	(0)	(1)	△ 1	
	資 産 売 却 収 入	0	0	0	
	付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	370	456	△ 86	
	医 療 収 入	73,826	72,903	923	
	受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	60	59	1	
	雑 収 入	603	771	△ 168	
	借 入 金 等 収 入	4,000	4,000	0	
	前 受 金 収 入	1,467	1,254	213	
	そ の 他 の 収 入	19,604	21,545	△ 1,941	
	資金収入調整勘定 (△)	△ 15,047	△ 14,463	△ 584	
支出 の 部	法 人 負 担 金 収 入	9	9	0	
	前 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,616	9,410	206	
	合 計	104,359	105,631	△ 1,272	
	人 件 費 支 出	32,326	32,738	△ 412	
	教 育 研 究 経 費 支 出	40,692	40,353	339	
	管 理 経 費 支 出	2,420	2,861	△ 441	
	借 入 金 等 利 息 支 出	36	33	3	
	借 入 金 等 返 済 支 出	1,400	1,400	0	
	施 設 関 係 支 出	9,168	7,810	1,358	
	設 備 関 係 支 出	5,265	3,695	1,570	
	資 産 運 用 支 出	6,000	6,000	0	
	そ の 他 の 支 出	12,259	12,912	△ 653	
	予 備 費	40	0	40	
	資金支出調整勘定 (△)	△ 14,918	△ 11,017	△ 3,901	
	法 人 負 担 金 支 出	283	295	△ 12	
	翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,388	8,551	837	
	合 計	104,359	105,631	△ 1,272	

平成28年度活動区分資金収支計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	科目	決算額	備 考
教育活動による資金収支	収入		
	学生生徒納付金収入	5,410	
	手数料料収入	191	
	特別寄付金収入	1,084	
	一般寄付金収入	130	
	経常費補助金収入	2,675	
	付随事業収入	456	
	医療収入	72,903	
	雑収入	628	
	教育活動資金収入計	83,477	
	支出		
	人件費支出	32,738	
	教育研究経費支出	40,353	
	管理経費支出	2,856	
	教育活動資金支出計	75,947	
施設整備等活動による資金収支	差引	7,530	
	調整勘定等	188	
	教育活動資金収支差額	7,718	
	科目	金額	備 考
	収入		
	施設設備寄付金収入		
	施設設備補助金収入	196	
	施設設備売却収入		
	減価償却引当特定資産取崩収入	2,000	
	施設整備等活動資金収入計	2,196	
	支出		
	施設関係支出	7,810	
	設備関係支出	3,695	
	減価償却引当特定資産繰入支出	2,000	
	施設整備等活動資金計	13,505	
その他の活動による資金収支	差引	△ 11,309	
	調整勘定等	210	
	施設整備等活動収支差額	△ 11,099	
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 3,381	
	科目	金額	備 考
	収入		
	借入金等収入	4,000	
	有価証券売却収入		
	第3号基本金引当特定資産取崩収入	1,000	
	退職給与引当特定資産取崩収入	3,000	
	貸付金回収収入	93	
	預り金受入収入	769	
	仮払金回収収入	33	
	仮受金受入収入		
	建物等賃貸借差入保証金収入	11	
	法人負担金収入	9	
	小計	8,915	
その他の活動による資金収支	受取利息・配当金収入	59	
	収益事業収入		
	過年度修正収入	142	
	その他の活動資金収入計	9,116	
	支出		
	借入金等返済支出	1,400	
	有価証券購入支出		
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	1,000	
	退職給与引当特定資産繰入支出	3,000	
	収益事業元入金支出		
	預り金支払支出	702	
	仮払金支払支出	31	
	仮受金支払支出		
	奨学貸付金支出	106	
その他の活動による資金収支	法人負担金	295	
	小計	6,534	
	借入金等利息支出	33	
	過年度修正支出	5	
	その他の活動資金支出計	6,572	
	差引	2,544	
	調整勘定等	△ 22	
	その他の活動資金収支差額	2,522	
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 859	
	前年度繰越支払資金	9,410	
	翌年度繰越支払資金	8,551	

貸 借 対 照 表

(平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	80,847	76,143	4,704	固定負債	25,969	23,145	2,824
有形固定資産	74,229	69,533	4,696	長期借入金	6,000	3,800	2,200
土地	9,197	9,197	0	長期未払金	2,542	2,493	49
建物	40,058	40,188	△ 130	長期預り金	10	0	10
構築物	1,546	1,623	△ 77	退職給与引当金	17,417	16,852	565
教育研究用機器備品	11,111	11,287	△ 176				0
管理用機器備品	382	161	221				0
図書	3,706	3,681	25	流動負債	14,244	14,869	△ 625
車輛	17	21	△ 4	返済期限が1年以内の長期借入金	1,800	1,400	400
建設仮勘定	8,212	3,375	4,837	未払金	10,431	11,483	△ 1,052
特定資産	6,000	6,000	0	前受金	1,254	1,284	△ 30
退職給与特定資産	3,000	3,000	0	預り金	759	702	57
減価償却特定資産	2,000	2,000	0	仮受金	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	1,000	1,000	0				
その他の固定資産	618	610	8				
借地権	10	10	0				
電話加入権	12	12	0	負債の部合計	40,213	38,014	2,199
施設利用権	23	22	1				
温泉利用権	1	1	0				
建物等賃貸借差入保証金	140	151	△ 11	純資産の部			
奨学貸付金	347	334	13	科 目	本年度末	前年度末	増 減
有価証券	20	20	0	基本金	155,431	149,285	6,146
長期預け金	20	20	0	第1号基本金	149,148	143,420	5,728
教育研究用ソフトウェア	26	25	1	第3号基本金	1,000	1,000	0
管理用ソフトウェア	19	15	4	第4号基本金	5,283	4,865	418
流動資産	23,524	25,898	△ 2,374				
現金預金	8,551	9,410	△ 859				
未収入金	13,294	14,858	△ 1,564				
貯蔵品	391	415	△ 24	繰越収支差額	△ 91,273	△ 85,258	△ 6,015
前払金	1,475	1,421	54	翌年度繰越収支差額	△ 91,273	△ 85,258	△ 6,015
仮払金	31	33	△ 2				
徴収不能引当金	△ 218	△ 239	21	純資産の部合計	64,158	64,027	131
資産の部合計	104,371	102,041	2,330	負債及び純資産の部合計	104,371	102,041	2,330

(端数未調整)

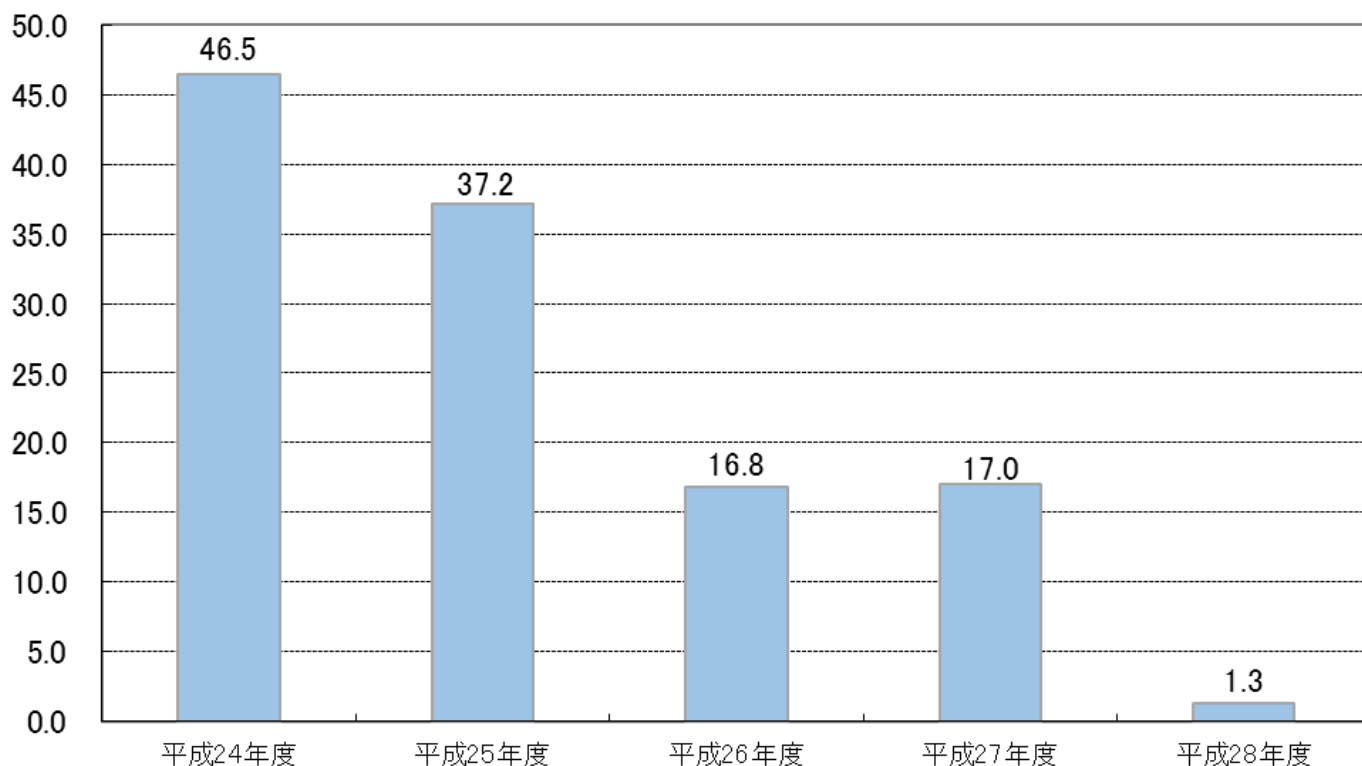
[解説]

この表は年度末における財務状態を表わしたもので、B／S（バランスシート）とも言われます。資産とは、教育研究に使用または運用される大学の財産であり、負債とはその財産の調達資金のうち、将来返さなければならないお金（他人資金）です。

基本金と繰越収支差額は純資産と言い、調達資金のうち外部へ返さなくてもよいもので、大学に完全に帰属する資金総額であり、正味財産（自己資金）と呼ばれています。

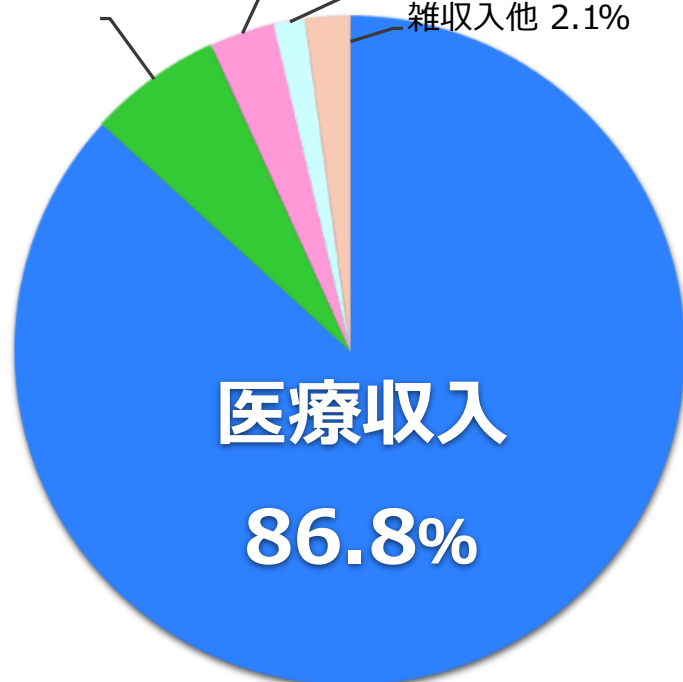
単位: 億円

基本金組入前当年度収支差額推移表

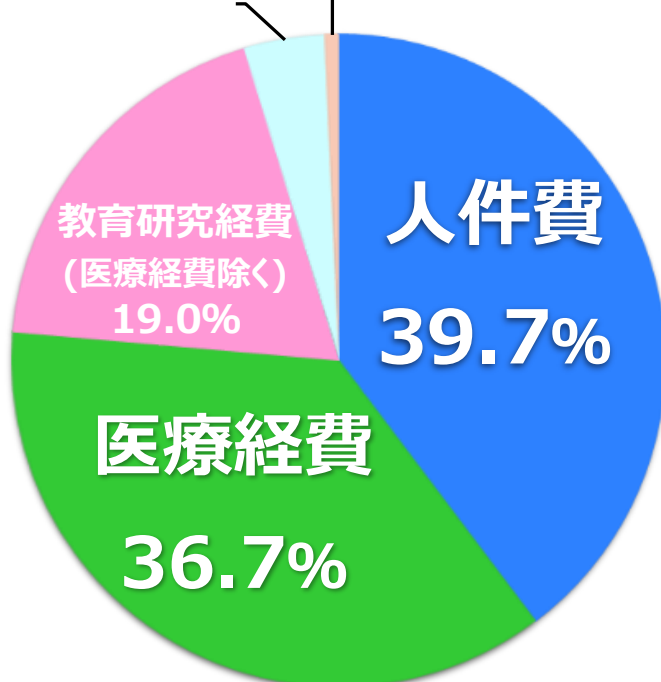


平成28年度決算 事業活動収支の科目別構成比

学生生徒等納付金 6.4%
経常費等補助金 3.2%
寄付金 1.5%
雑収入他 2.1%



管理経費 4.0%
法人負担金他 0.6%

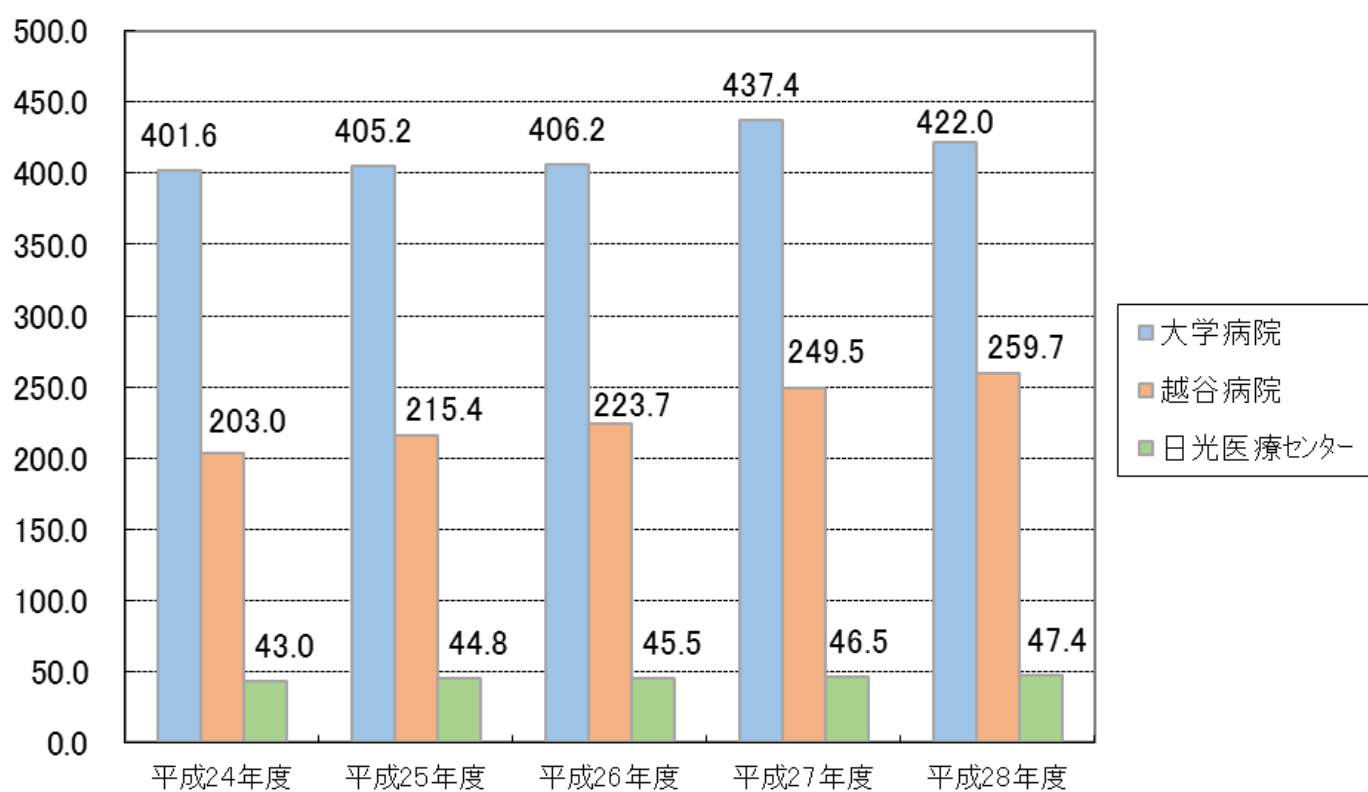


事業活動収入 83,971百万円

事業活動支出 83,840百万円

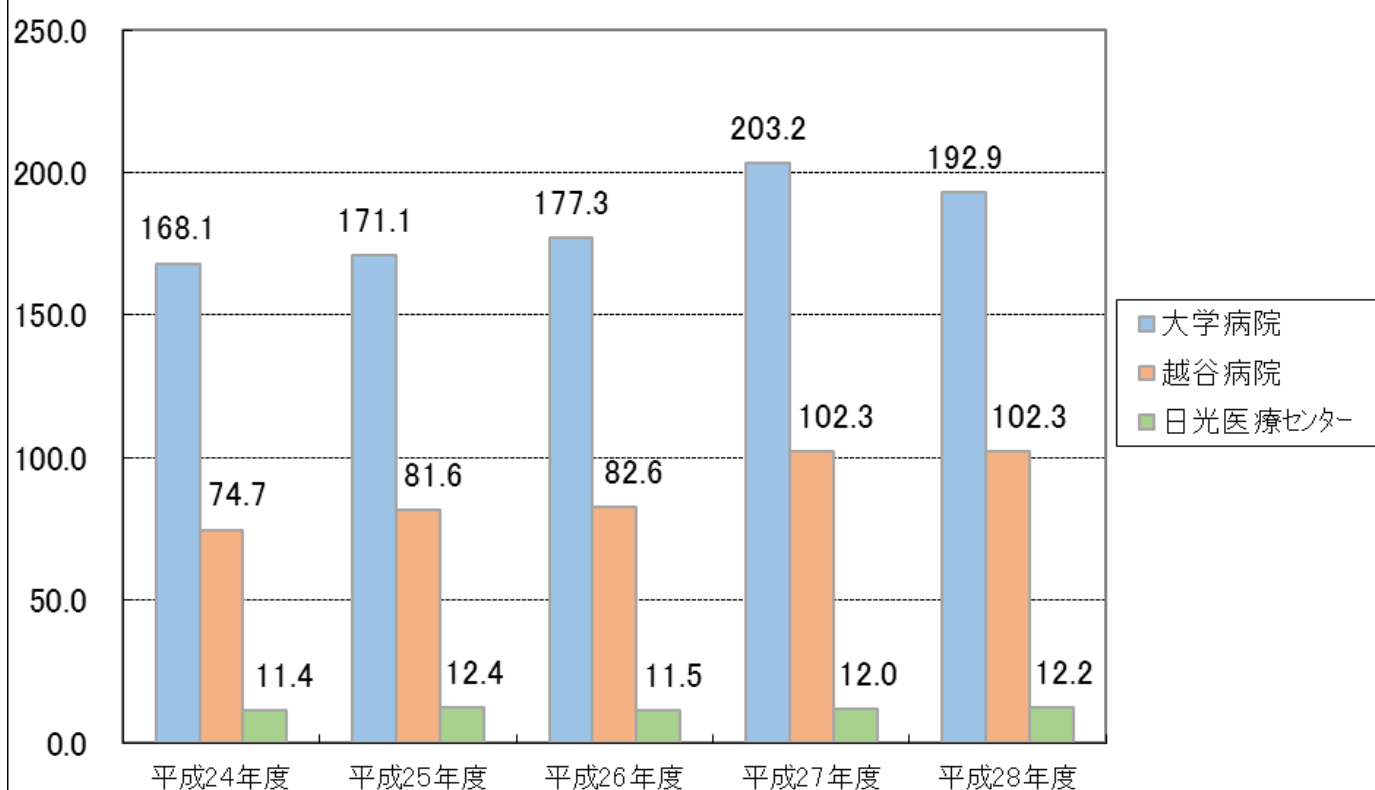
医療収入推移表

単位: 億円



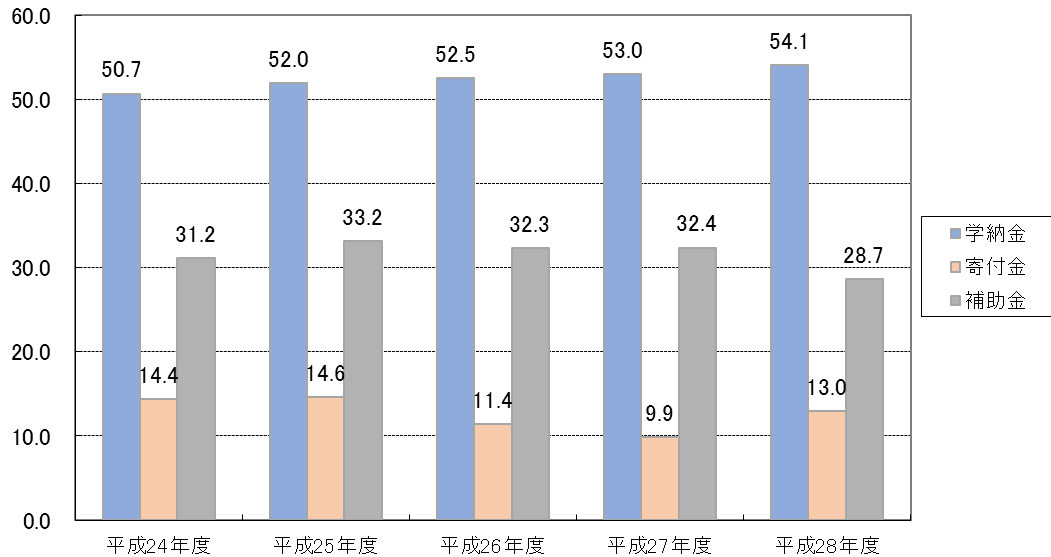
医療経費推移表

単位: 億円



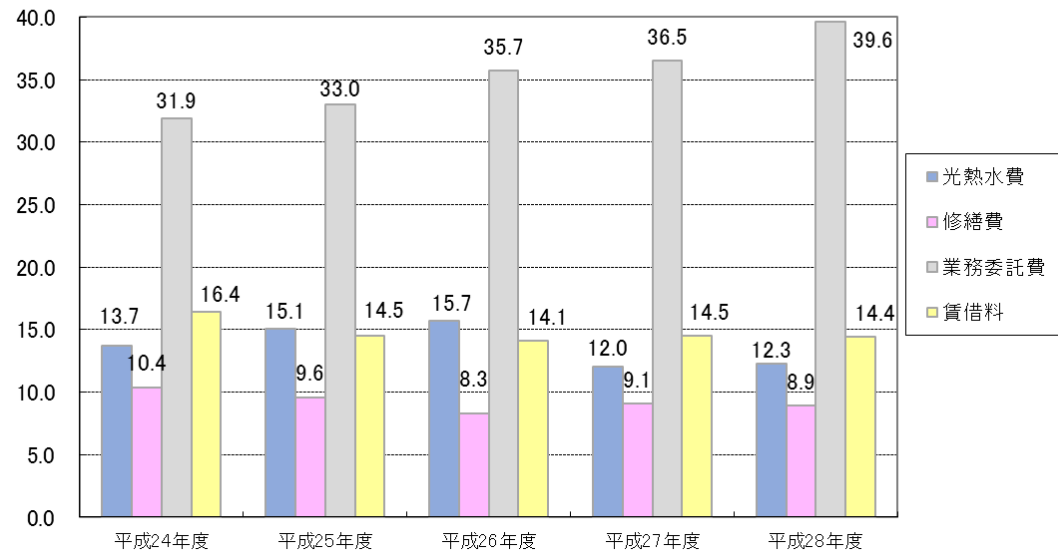
学納金・寄付金・補助金の収入推移表

単位: 億円



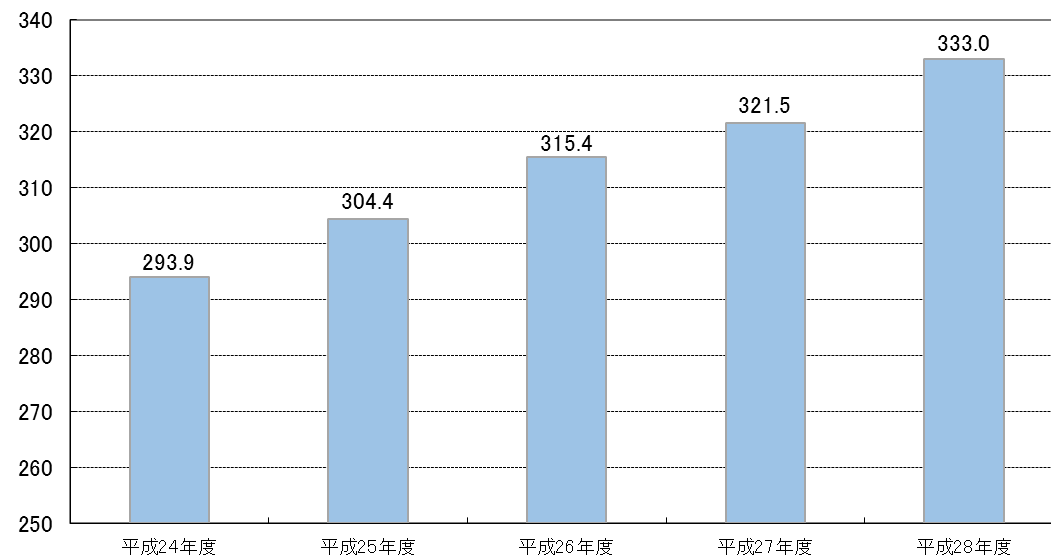
主な教育研究経費(医療経費除く)

単位: 億円



人件費推移表

単位: 億円



施設・設備関係支出推移表

単位: 億円

